

昨年度の「夜だけ現れるバス停」

未来へつなぐ金沢行動会議 / 若者のネットワーク実現部会 gen-K

取組概要

堅町 ナイトストップ

10/6～10/18の期間、アルバイト後の学生・若者を中心に、22時～24時限定でPOPUP堅町に待合所を開設。

24時発のシャトルバスを待つ間、飲食、展示、DJ、ボードゲーム、本や雑誌などを用意し、夜のまち中に居場所と交流のきっかけをつくった。



結果

72

アンケート回答

57

バス乗車人数

成果発表で整理した成功要因

- ・場所と開放性
- ・楽しむ心をもつ伴走者
- ・主体的な学生のつながり

話題提供として共有したいこと

「学生が来た」だけではなく、どんな場所・人・楽しさがあったから学生が参加したのかを、意見交換の入口として共有する。

学生が参加したくなる活動の条件

ナイトストップとRENOVA!から見た、内向きの楽しさと外向きの社会貢献を両立する場づくり

未来へつなぐ金沢行動会議

夜だけ現れる「第3のバス停」

Night Stopとして、10/6～10/18の期間、22時以降に立ち寄れる待合所を堅町に設置。飲食、DJ、展示、ボードゲーム等を通じて、夜の街中に自然な交流をつくった。



RENOVA!

空き家を中心とした インカレ型リノベ団体

大学や専門学校の枠を超えて、空き家・空間活用・改修・地域実践に取り組む。活動を通じて、学生同士の横のつながりと実践経験が生まれた。



考察: 学生が動き続ける理由

1 楽しいから集まる

趣味、好きなこと、友人との関係、居心地のよさ。まずは内発的な「おもしろい」が参加の入口になる。

2 でも、サークルで終わらない

内向きに楽しむだけでなく、外向きな課題解決にもベクトルを向ける。楽しみながら、人のためになることを考える。

3 他大学と出会える

活動を続ける中で、大学や専門学校の枠を超えた出会いが生まれる。結果として、それ自体が参加ニーズになる。

仮説: 新しい団体や公共の形は、「内向きの楽しさ」と「外向きの社会貢献」を同時に持つところから生まれる。